

平成 20 年 7 月期 第 1 四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成 19 年 12 月 5 日

会 社 名 サムコ 株式会社

コード番号 6387

本社所在地 京都府京都市伏見区竹田糞屋町 36 番地

代表者 代表取締役社長 辻 理

問合せ先責任者 管理部門統括部長 田井 彰

上場取引所 JQ

URL <http://www.samco.co.jp>

TEL (075) 621-7841

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 7 月期第 1 四半期の業績 (平成 19 年 8 月 1 日～平成 19 年 10 月 31 日)

(1) 経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 (当 期) 純 利 益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20 年 7 月期第 1 四半期	1,013 (23.8)	147 (144.0)	144 (152.7)	85 (152.2)
19 年 7 月期第 1 四半期	818 (78.2)	60 (—)	57 (—)	34 (—)
19 年 7 月期	4,251 (38.1)	599 (267.9)	600 (279.5)	347 (254.4)

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益
	円 錢	円 錢
20 年 7 月期第 1 四半期	14 63	—
19 年 7 月期第 1 四半期	—	—
19 年 7 月期	71 07	—

- (注) 1. 営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益は平成 19 年 7 月期から開示を始めたため、平成 19 年 7 月期第 1 四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。なお、当第 1 四半期より四半期財務諸表の開示を始めております。
2. 平成 19 年 8 月 1 日付で、普通株式 1 株につき 1.2 株の割合で株式分割しております。その結果、発行済株式総数は分割前の 4,890,890 株から、分割後は 5,869,068 株となりました。当該分割が前会計年度に行われたと仮定した場合の、前会計年度における 1 株当たり当期純利益は 59 円 22 錢、1 株当たり純資産は 914 円 18 錢となります。

(2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株 当 たり 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 錢
20 年 7 月期第 1 四半期	7,356	5,375	73.1	916 27
19 年 7 月期第 1 四半期	—	—	—	—
19 年 7 月期	7,451	5,363	72.0	1,097 01

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 7 月期第 1 四半期	29	△ 7	△ 75	1,315
19 年 7 月期第 1 四半期	—	—	—	—
19 年 7 月期	579	△ 88	△ 67	1,369

2. 配当の状況

1 株当たり配当金	
(基準日)	第1四半期末
20年7月期第1四半期	円 錢 — —
19年7月期第1四半期	— —

3. 平成20年7月期の業績予想（平成19年8月1日～平成20年7月31日）（参考）

（%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
中間期 通期	百万円 % 2,350 (11.3) 4,700 (10.6)	百万円 % 367 (22.8) 715 (19.2)	百万円 % 362 (19.3) 705 (17.3)	百万円 % 215 (24.2) 400 (15.1)	円 錢 36 64 68 17

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 有
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 無

(注) 詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる場合があります。なお、上記の予想の前提条件その他に関する事項については、4ページを参照してください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期におけるわが国の経済は、米国のサブプライム住宅ローン問題に端を発する金融・資本市場の混乱と原油価格高騰による実体経済への悪影響が懸念される中で、引き続き堅調に推移いたしました。

このような環境の中、当社を取り巻く半導体等電子部品業界におきましては、デジタル家電関連企業を中心に設備投資が引き続き活発化いたしました。当社の当第 1 四半期は、前期からの流れを受けて台湾市場のオプトエレクトロニクス分野向けを中心にアジア、米国への輸出が引き続き好調で、海外売上高は 328,354 千円となり、海外売上高比率は前期の 26.3% から 32.4% へと上昇いたしました。また、国内向けには、マイクロマシンや三次元 L S I の絶縁膜形成用途で大型 C V D 装置の売上が増加いたしました。一方、電子部品分野の売上高は 143,777 千円に止まりましたが、第 2 四半期以降の受注が獲得できており、十分、回復見込みであります。中長期的な経営課題であります生産機市場での販売力強化と海外市場での拡販が順調に進んでおります。

以上の結果、当第 1 四半期の売上高は 1,013,167 千円（前年同期比 23.8% 増）となりました。売上高総利益率は前年同期の 45.5% から 48.6% へと 3.1% 改善いたしました。経常利益は 144,810 千円（前年同期比 2.5 倍）となり、純利益は 85,866 千円（前年同期比 2.5 倍）と前年同期比大幅な増益となりました。

(品目別売上高)

品 目	当四半期 (平成 20 年 7 月期第 1 四半期末)		(参考) 前期 平成 19 年 7 月期末	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)
C V D 装 置	259,671	25.6	961,829	22.6
エッ칭装置	533,181	52.6	2,298,383	54.1
洗 淨 装 置	94,147	9.3	532,620	12.5
そ の 他 装 置	—	—	—	—
そ の 他	126,166	12.5	458,500	10.8
合 計	1,013,167	100.0	4,251,334	100.0

(用途別売上高)

用 途	当四半期 (平成 20 年 7 月期第 1 四半期末)		(参考) 前期 平成 19 年 7 月期末	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	前期比 (%)
オプトエレクトロニクス分野	438,449	43.3	1,725,904	40.6
電子部品分野	143,777	14.2	1,078,462	25.4
シリコン分野	181,001	17.8	310,644	7.3
実装・表面処理分野	52,640	5.2	209,367	4.9
表示デバイス分野	34,800	3.4	180,430	4.2
そ の 他 分 野	36,332	3.6	288,024	6.8
部品・メンテナンス	126,1666	12.5	458,500	10.8
合 計	1,013,167	100.0	4,251,334	100.0

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第 1 四半期末における流動資産は、4,192 百万円で前期末に比べ 85 百万円減少いたしました。売掛金が 69 百万円、たな卸資産が 67 百万円増加いたしましたが、受取手形が 165 百万円、現金及び預金が 49 百万円それぞれ減少いたしました。

（固定資産）

当第1四半期末における固定資産の残高は、3,164百万円で前期末に比べ9百万円減少しました。主な減少要因は、建物と機械及び装置の減価償却であります。

（流動負債）

当第1四半期末における流動負債の残高は、1,553百万円で前期末に比べ113百万円減少しました。未払法人税等が171百万円減少となった一方、買掛金が28百万円、前受金が28百万円増加いたしました。

（固定負債）

当第1四半期末における固定負債の残高は、428百万円で前期末に比べ7百万円増加しました。退職給付引当金が5百万円、役員退職慰労引当金が1百万円増加したのが主な要因であります。

（純資産）

当第1四半期末における純資産の残高は、5,375百万円で前期末に比べ11百万円増加しました。これは、利益剰余金が12百万円増加したことなどによります。自己資本比率は前期比1.1%上昇し73.1%となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、税引前第1四半期純利益が144,810千円（前年同期比2.5倍）となり、売掛債権の減少95,142千円がプラスに寄与した一方、法人税等の支払い230,056千円、配当金の支払い73,337千円やたな卸資産の増加67,067千円などにより、資金残高は前期末に比べ53,760千円減少し、当第1四半期末には1,315,933千円（前期末比3.9%減）となりました。

また、当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は29,348千円となりました。これは主に税引前第1四半期純利益が144,810千円となり売掛債権の減少95,142千円、仕入債務の増加28,863千円が加わった一方、法人税等の支払いが230,056千円、たな卸資産の増加が67,067千円であったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は7,345千円となりました。その主な内容は定期預金の預入による支出941,334千円に対して、定期預金の払出による収入が936,803千円であったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は75,763千円となりました。これは主に配当金の支払73,337千円によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成20年7月期の業績につきましては、平成19年9月14日付の決算短信（非連結）で公表いたしました業績予想から、当第1四半期は出足がやや鈍りましたが、引続きオプトエレクトロニクス分野での輸出や電子部品分野での受注が好調であります。当第1四半期末の受注残高は22億48百万円と前期末の受注残高15億2百万円を大幅に上回り過去最高レベルにあり、中間期および通期の業績目標は達成見込みであることから当初予想に変更はありません。

4. その他

（1）会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上および影響額が僅少なものについては、一部簡便的な方法を採用しております。

（2）最近事業年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期財務諸表

当社は、当第1四半期より四半期財務諸表の開示を始めましたため、前年同四半期の財務諸表は記載しておりません。

(1) (要約) 四半期貸借対照表

区分	当四半期 (平成20年7月期第1四半期末)		(参考) 前期 平成19年7月期末	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1. 現金及び預金	2,410,417		2,459,647	
2. 売掛債権	1,142,521		1,237,663	
3. 備蓄資産	600,281		533,213	
4. その他	39,700		47,724	
5. 貸倒引当金	△361		△361	
流動資産合計	4,192,559	57.0	4,277,888	57.4
II 固定資産				
1. 有形固定資産				
(1) 建物	436,859		445,562	
(2) 構築物	4,935		5,121	
(3) 機械及び装置	19,519		28,204	
(4) 車両運搬具	13,913		6,717	
(5) 工具器具及び備品	18,434		19,211	
(6) 土地	2,343,424		2,343,424	
有形固定資産合計	2,837,086	38.5	2,848,242	38.2
2. 無形固定資産				
(1) 特許権	8,497		9,019	
(2) 電話加入権	2,962		2,962	
(3) ソフトウェア	2,209		10	
無形固定資産合計	13,669	0.2	11,992	0.2
3. 投資その他の資産				
(1) 繰延税金資産	176,404		176,404	
(2) 差入保証金	54,898		54,898	
(3) その他	82,381		82,378	
投資その他の資産合計	313,684	4.3	313,682	4.2
固定資産合計	3,164,440	43.0	3,173,916	42.6
資産合計	7,356,999	100.0	7,451,804	100.0

区分	当四半期 (平成20年7月期第1四半期)		(参考) 前期 平成19年7月期末	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 買掛金	600,765		571,901	
2. 短期借入金	684,500		686,000	
3. 未払金	49,480		59,249	
4. 未払法人税等	63,887		235,000	
5. 未払費用	50,351		26,146	
6. その他	104,479		88,613	
流動負債合計	1,553,464	21.1	1,666,910	22.4
II 固定負債				
1. 長期借入金	4,500		4,500	
2. 退職給付引当金	153,898		148,198	
3. 役員退職慰労引当金	270,090		268,752	
固定負債合計	428,488	5.8	421,450	5.6
負債合計	1,981,952	26.9	2,088,361	28.0
(純資産の部)				
I 株主資本				
1. 資本金	1,213,787	16.5	1,213,787	16.3
2. 資本剰余金	1,629,587	22.2	1,629,587	21.9
3. 利益剰余金				
(1) 利益準備金	59,500		59,500	
(2) その他利益剰余金				
別途積立金	2,057,000		1,907,000	
繰越利益剰余金	402,103		539,573	
利益剰余金合計				
4. 自己株式	2,518,603	34.2	2,506,073	33.6
株主資本合計	△4,557	△0.1	△3,630	△0.1
II 評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	5,357,420	72.8	5,345,817	71.7
純資産合計				
負債純資産合計				

(2) (要約) 四半期損益計算書

区分	当四半期 (平成20年7月期第1四半期)		(参考) 前期 平成19年7月期	
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	1,013,167	100.0	4,251,334	100.0
II 売上原価	520,529	51.4	2,277,538	53.6
売上総利益	492,638	48.6	1,973,795	46.4
III 販売費及び一般管理費	345,277	34.1	1,374,192	32.3
営業利益	147,361	14.5	599,603	14.1
IV 営業外収益	2,251	0.2	15,369	0.3
V 営業外費用	4,802	0.5	13,976	0.3
経常利益	144,810	14.3	600,996	14.1
税引前当期純利益	144,810	14.3	600,996	14.1
法人税、住民税及び 事業税	58,943	5.8	269,136	
法人税等調整額	—	8.5	△15,603	5.9
当期純利益	85,866		253,532	
			347,463	8.2

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

区分	当四半期 (平成20年7月期第1四半期)	(参考) 前期 平成19年7月期
	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期(当期)純利益	144,810	600,996
減価償却費	20,811	54,281
投資有価証券売却益	—	△3,999
受取利息及び受取配当金	△2,013	△3,771
支払利息	3,030	10,350
為替差益	—	△3,273
賞与引当金の増加額	—	5,400
役員賞与引当金の増減額	△12,780	12,780
製品保証引当金の増加額	—	6,700
退職給付引当金の増加額	5,700	13,526
役員退職慰労引当金の増加額	1,338	12,648
売上債権の減少額	95,142	124,625
たな卸資産の増加額	△67,067	△137,098
未収入金の増減額	6,000	△6,000
仕入債務の増減額	28,863	△58,100
未払消費税等の増減額	△5,502	26,193
未払費用の増加額	24,205	148
前受金の増減額	28,951	△9,543
預り金の増加額	5,188	2,020
その他	△17,450	13,957
小計	259,228	661,840
利息及び配当金の受取額	2,013	3,771
利息の支払額	△1,836	△10,271
法人税等の支払額	△230,056	△76,052
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,348	579,287
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△941,334	△1,625,390
定期預金の払出による収入	936,803	1,550,545
有価証券の売却による収入	—	5,500
有形固定資産の取得による支出	△2,857	△20,197
その他	42	700
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,345	△88,841
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	—	△552
長期借入金の返済による支出	△1,500	△6,000
自己株式取得による支出	△926	—
配当金の支払額	△73,337	△61,114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,763	△67,666
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	3,273
V 現金及び現金同等物の増減額	△53,760	426,053
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,369,693	943,640
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,315,933	1,369,693